お元気ですか！
志村 たかよしです

第８４３号　2017年6月18日

日本共産党中央区議団
中央区　築地 １－１－１
電　話 ３５４６-５５６３
ＦＡＸ ３５４６-９５７０

都知事の「判断」間近！

築地での整備しか道はない

築地市場の豊洲移転計画の破たんがいよいよ明白になっています。

豊洲の土壌汚染について、小池都知事は「無害化は達成できていない」「約束を守れていないことをおわびする」と6月1日の都議会で都民と市場関係者に陳謝するとともに、「もとより安全・安心はこの問題の最大の課題だ。『無害化』が実現できていない中、法的・科学的根拠に基づく安全と、都民の理解・納得に基づく安心が確保できるのか、ロードマップに沿って総点検を進めている」と発言しました。

食文化を育み機能的な施設配置が魅力的な築地市場

これは、これまで「地上部は安全」「法令上は安全」との立場を崩さなかった東京都と小池都知事がその立場を是正し、地上は「安全」と主張してきた部分についても総点検することを表明したものです。

都民への「約束」果たされず

都はこれまで、豊洲の移転予定地について「汚染土壌はすべて除去・浄化する」、その上で「盛り土を行い遮断する」という2つの約束を議会と都民に繰り替えし約束し、計画を進めてきたという経緯があります。

しかし、昨年9月、日本共産党都議団の調査で、主な建物の下には、地下の汚染が地上に上がらないようにする「盛り土」がないことが分かり、都政を揺るがす大問題になりました。

その後の調査では、地下水から環境基準の百倍のベンゼンや検出されてはいけないシアンなど基準を大きく超える有害物質が検出され、5月18日の都の専門家会議では、平田座長がとうとう「環境基準以下にすることを目指してはいない。汚染は残る」との重大な発言をし、「無害化」できないことがいよいよはっきりしたのです。

山本有二農水相も、4月10日の参議院決算委員会で「東京都が汚染の除去と措置を行わず、盛り土等のみを行った状態で卸売市場用地とすることについては想定し得ない」と答弁しています。

豊洲で開場なら大赤字

6月5日には、都の市場問題プロジェクトチームが、豊洲新市場に移転した場合、毎年１００億～１５０億円の赤字が継続して発生し、60年間で市場会計は１兆円の累積赤字になるとの試算も示しました。

安全性の面からも、長期的な財政面からも、築地での再整備しか道はありません。

築地の魅力語り合うシンポジウム

5月27日、築地市場のさまざまな魅力を語りあうシンポジウムが、市場内講堂で開かれ、２００人余が参加しました。

主催は築地市場の仲卸業者でつくる「築地女将（おかみ）さん会」で、多くの報道陣が取材していました。

パネリストとして中沢新一氏、森山高至氏、兼松紘一郎氏、中澤誠氏が発言しました。

「築地の良いところを語り合おう」と開かれたシンポジウム

築地市場には文化的な富がある

人類学者の中沢さんは、「日本を訪れたヨーロッパの研究者が、築地では仲卸業者が重要な役割を果たしており、食材の味の水準を保っているということを知ると驚く」と紹介し、「世界に類のない厚みを発揮しているのが築地だ」と述べるとともに、築地市場の豊洲移転計画に対し「築地市場がいかに豊かで文化的な富が隠れているかを明らかにすることが大事だ」と強調しました。

築地市場には重要な役割がある

全労連・東京中央市場労働組合委員長の中澤さんは、築地市場では全国から集荷した生産者の利益を守るため、できるだけ高く売りたい「卸」と、できるだけ安く仕入れ消費者の利益を守りたい「仲卸」とがセリ売りを通じて品質や適正な価格水準を保っていることを詳しく紹介するとともに、この市場の重要なセリ制度が形骸化されてきていると指摘しました。

場外市場と連携して魅力を創出

建築エコノミストの森山さんは「豊洲新市場は卸と仲卸の間が幹線道路で分断されていて、細い連絡通路でつながっているため、渋滞の危険がある」と指摘し、「築地市場は場外市場と連携して、全体で一つの魅力を持っている。たんに箱物を造って市場だけ移せばよいというのは間違っている」と語りました。

近現代の建築史に重要な施設

建築家の兼松さんは、築地市場は日本の近現代の建築史で欠かせない位置を占めているとして、「外国では築地のようにダイナミックに施設を使いこなしている市場はない。築地市場に手を入れる場合、この構成を継承してほしい」と話しました。

現建物を生かした再整備は可能

会場からの発言のなかで、建築家の今川憲英・東京電機大学名誉教授は、築地市場の魅力的な建物を生かしながらの再整備案を10数年間から研究してきたと述べ、「築地市場をブロックごとに改修すれば、営業しながら、『居ながら再生』は可能だ」と断言しました。

豊洲への移転は許せない

本間慎・元フェリス女学院大学学長は「都は『築地で土壌汚染が発覚』と言ったが、汚染は点在的だ。汚染が除去できない豊洲への移転を許してよいのか」と語りました。

建築家の伊東豊雄さんから寄せられた「築地は働く人たちが使いこなしているかけがえのない財産。ぜひ残していただきたい」というメッセージも読み上げられました。

シンポジウムに参加して、築地市場の役割と魅力とあわせ、多くの人たちが「築地を愛している」ということを実感しました。

ご意見、ご要望など、お気軽にご連絡ください（3536－6309）

phot by shimura

ブログもごらんください　志村たかよしワールド　検索